

県民のくらしと営業守るため

県内各地を駆ける

伊藤 岳

比例5議席・埼玉から伊藤岳を国会へ
―国会議員団事務所二ユース― (部内資料)

2010年
3月1日

発行 日本共産党国会議員団埼玉県事務所
TEL 048-6658-5700
FAX 048-647-5755
E-mail jcp.saitama-kokkai@mail.plala.or.jp
No.20101

県JA中央会、県森林組合と懇談



島村専務理事らと懇談する大門参院議員、柳下県議、伊藤候補=8日

伊藤岳候補は24日、大門みきし参院議員と県農協中央会（JA県中央会）を訪れ、島村義雄専務理事らと懇談しました。
島村氏は「都心から30キロ圏内に農地がある都市近郊農業は貴重な存在。ところが高すぎる固定資産税の支払いに農家は苦しんでいる」と、税負担軽減を要望。大門議員は、農業について「税問題として国会で取り上げたい」と応えました。
また伊藤候補は19日、秩父市議団らと県森林組合連合会（皆野町）を訪れ、持田欣教理事長と懇談。持田理事長は全国大会に参加して志位委員長あいさつに注目したこ



持田理事長と懇談する伊藤候補と秩父市議団=19日

となど日本共産党への期待をのべつつ、「林業は長期的事業。間伐や植林など、必要な時期に必要な手を打たないとダメになる」と計画的林業への環境整備の必要と語りました。



富士見市医師会の篠田毅会長（写真右）と懇談し、医療現場の現状や要望を聞く伊藤候補=17日。

伊藤氏は木材の価格補償や新規就農者支援など党の農業政策を紹介し、持続可能な林業実現に力を尽くすとのべました。

もの作りの現場や商店街を訪ね、社長さんと懇談



諏訪部理事長と懇談する伊藤候補と川越市議団=8日

「川越の工業団地を訪問」
伊藤候補は8日、川越市の川越東部工業会協同組合を訪ね、諏訪部喜義理事長と懇談。
諏訪部理事長は、工業団地内のかつてない厳しい状況について、「あらゆる努力をしないと企業は持たない。雇用維持のために政治が責任を果た

してほしい」とのべ、もうけ本位の経済を改め、地球環境を重視した循環型経済をつくっていく必要性を強調しました。
伊藤候補は「環境にも、暮らしにも循環型社会という考え方は重要だと思います。企業のあり方も循環型に変えて、内需や家計を潤す施策が必要です」と語りました。



ふじみの市内の商店街を訪ねる伊藤候補とふじみ野市議団=17日

中小商工業や地域経済について懇談しました。

党勢拡大の先頭にも



伊藤候補は、連日街頭から訴えながら、各地域の「つどい」に参加し、「ぜひ力を貸してください。ごいっしょに政治をかえましょう」と、党大会後14人を党にむかえています。

お願い

今後、定期的にメール送信での発行を予定しています。地域新聞などへの活用を広げるためにも、メールアドレス(PC)を記載されていない議員などの方はアドレスをご連絡いただければ幸いです。